

平成 28 年（2016 年）2 月 16 日

## 「キャスト」や「主題歌」などからロケ地の検索を可能に 観光アプリケーション「ながさきロケなび」をリリース

NII・長崎大学 共同開発の「自己拡張型オープンプラットフォーム」を活用

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（NII、所長：喜連川 優、東京都千代田区）の曾根原研究室（代表：NII 情報社会相関係 教授・研究主幹 曾根原 登）と国立大学法人 長崎大学 大学院工学研究科（小林 透 教授）は共同で、オープンデータ化した既存コンテンツを核とし、新たに発信された情報をリアルタイムに追加するなどして自己拡張できる「自己拡張型オープンデータプラットフォーム」を研究開発し、これを活用した観光アプリケーション「ながさきロケなび」を 2 月 15 日にリリースしました。本アプリケーションでは、一般社団法人 長崎県観光連盟の長崎県フィルムコミッション事業様の協力により、同県内で撮影された映画・ドラマなどの作品のロケ地情報を多言語化した上でオープンデータ化することで、「キャスト」や「監督」、「主題歌」などからロケ地の検索を可能にするとともに、観光客が発信する情報なども追加してコンテンツを自己拡張します。本アプリケーションのリリースは同日、長崎大学などによる「『観光活性化等における ICT 利活用』に関する包括連携協定の締結調印式」の中で発表されました。

曾根原研究室では、人間や社会の複雑な状況や行動を反映した多種多様なビッグデータの集積と分析により、科学的根拠に基づいて合理的に意思決定や政策決定を行う「データ中心政策科学」の創成に向けた研究開発を行っています。そのために不可欠となるのは、Web/SNS データや公的統計データ、自治体オープンデータ、センシングデータなどの「ソーシャル・ビッグデータ」を共有し、データ連携の基盤を実現することです。長崎大学とは Web/SNS データとオープンデータの連携に関して共同研究開発を行ってきました。この共同研究で開発した「自己拡張型オープンデータプラットフォーム」は、オープンデータ化した既存のコンテンツを「核」として保有するとともに、Twitter などの SNS で発信された新しい情報を次々と取り込むことで、最新の情報を付加して提供します。この技術の活用第一弾として観光に応用にしたのが、「ながさきロケなび」です。

従来も映画単位でロケ地を検索することは可能でしたが、ロケ地情報を多言語化したオープンデータとして持っている「ながさきロケなび」では、好きな「キャスト」が出演した異なる映画やドラマのロケ地の検索も可能です（別紙 図 1）。また、自己拡張型のプラットフォームであることから、現地を訪れた観光客のつぶやきデータを自動収集<sup>(\*1)</sup>して「ロコミ情報ページ」を生成したり（別紙 図 2）、「ロケ地巡礼」の旅行プランを作成する機能を使ってオリジナルな旅行プランを作成して公開したりすることも可能です。こうした機能により、直接は見知らぬ観光客同士が SNS 上で長崎観光に関するコミュニケーションを深めたり、観光コミュニティを構築したりすることが期待できます。また、外国に居住している人にもロケ地をタイムリーにアピールすることもできます。

また、このアプリケーションを利用している観光客が辿った観光ルートを共有することができるため、「どのような観光ルートが好まれているか」「観光地における問題点は何か」などの情報を容易に収集可能で、問題点の洗い出しや対応方法の検討、新規観光地の開拓といった意思・政策決定を支援することができます。さらに、情報提供の同意が得られた観光客の国籍や性別・年代などの情報を利活用する基盤としての機能も備えるため、データ連携基盤における SNS データの収集・分析において重要な役割を果たすことが期待されます。

以上

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

**大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構**

**国立情報学研究所**

総務部企画課 広報チーム（担当：美土路昭一）

TEL：03-4212-2164 E-Mail：[media@nii.ac.jp](mailto:media@nii.ac.jp)

(\*1)「つぶやきデータの自動収集」：データの収集と再掲は、利用者の同意を得たうえで、Twitter とのアプリ連携機能により実現。

【別紙】

■ 「ながさきロケナビ」

図 1. 特定の「キャスト」が出演した異なる映画やドラマのロケ地を検索



図 2. 口コミ情報ページの自動生成

